平成 30 年度の予算

平成 30 年度予算をお知らせします

＊当初予算合計＊

654 億 3,700 万円 前年度対比 0.1%減

一般会計	388 億円（前年度対比 1.6%増）
特別会計	169 億 1,150 万円（前年度対比 3.1%減）
公営企業会計	97 億 2,550 万円（前年度対比 1.0%減）

※公営企業会計予算は、収入と支出を比較し多い方で表示。

特集
まちのお金の使い道

「輝く未来都市への挑戦」
～洞察力・直観力・実現力を大切に～

平成30年度は、シティプロモーション関連のプロジェクト群の着実な進展を図り、各事業の具現化を図ります。

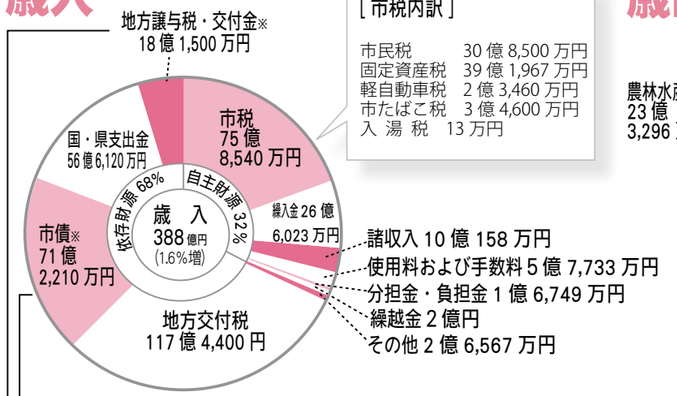
当初予算は、一般会計が388億円で、前年度対比1・6%増加。特別会計と公営企業会計を含めた総額は、654億3,700万円で、前年度対比0・1%減少しました。

これらの予算をもとに、将来を見据えた新しいまちのあり方を検討し、今よりもっと住みたくなるまちにするため「洞察力・直観力・実現力」を効かせて各施策に取り組みます。

① 一般会計 388 億円

前年度対比 1.6% 増
福祉や教育、道路整備などにかかる基本的な会計です。

歳入



［市税内訳］

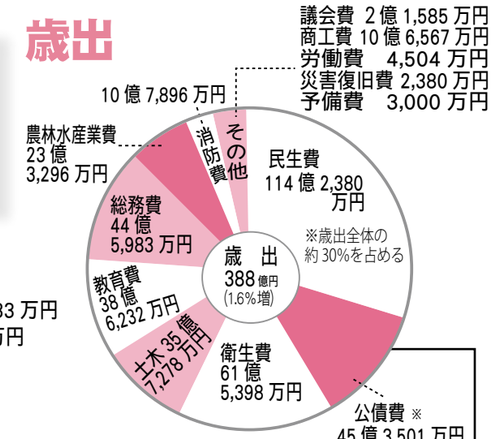
市民税	30 億 8,500 万円
固定資産税	39 億 1,967 万円
軽自動車税	2 億 3,460 万円
市たばこ税	3 億 4,600 万円
入湯税	13 万円

歳入全体に占める自主財源の割合が高いほど、自主性・安定性があるとされています。

自主財源
市独自の収入
124 億 5,169 万円

依存財源
国や県からの補助など
263 億 4,831 万円

歳出



※［地方譲与税・交付金］
・地方譲与税…地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税
・交付金…地方消費税交付金、自動車取得税交付金、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

※［市債］
道路整備や学校建設など、一度に多くのお金がかかる事業は、その年の収入だけではまかないきれないので、国や銀行などからお金を借りて実施します。このお金を市債といいます。今年度の主な事業として、健康センターミルネ整備事業、看護専門学校整備事業などがあります。

※［公債費］
市債（借金）の元金と利子の返済に要するお金。平成 17 年度から平成 29 年度までに約 190 億円の繰上償還（返済）を行うことにより、市債残高が平成 17 年度末と比べて約 88 億円減少する見込みです。今年度は、繰上償還を計上していないため、前年度対比で 5 億 9,530 万円減額します。

今後の課題！

「自主財源」の比率は 32％で、中長期的にみても市税を中心とした自主財源を増やし、財政基盤を強化することが必要です。

② 特別会計

特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計です。

△は前年度対比減

会計別	主な使い道	予算額	増減率 (%)
国民健康保険特別会計事業勘定	国民健康保険加入者を対象とした医療給付	71 億 7,700 万円	△ 18.7
国民健康保険特別会計直診勘定	青垣診療所の運営	2 億 2,020 万円	△ 1.2
介護保険特別会計保険事業勘定	65 歳以上で要介護認定を受けた対象者への介護給付	69 億 3,500 万円	4.6
介護保険特別会計サービス事業勘定	地域包括支援センターの運営	2,230 万円	7.2
後期高齢者医療特別会計	75 歳以上の方を対象とした医療給付	9 億 600 万円	3.4
訪問看護ステーション特別会計	在宅介護支援サービスの提供	1,880 万円	0.5
地方卸売市場特別会計	卸売市場の管理	260 万円	△ 10.3
駐車場特別会計	月極・一時駐車場施設の管理	1,130 万円	△ 6.6
看護専門学校特別会計	丹波市立看護専門学校の運営	14 億 1,400 万円	120.2
農業共済特別会計（収益的収支）	農業共済金、無事戻金の支払いなど	2 億 430 万円	1.0
総合計		169 億 1,150 万円	△ 3.1

③ 企業会計

地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計です。

会計名	主な使い道	予算額	増減率 (%)
水道事業会計	施設・設備などの維持管理・水道施設整備など	34 億 9,600 万円	1.7
下水道事業会計		62 億 600 万円	△ 2.0
企業会計合計		97 億 200 万円	△ 0.7

注 1）水道事業会計・下水道事業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出を合計した予算額で表示しています。

［一般会計歳出］

歳出は、前年度対比で1・6％増加しています。

＊**総務費** 防災行政無線整備事業、戸籍住民基本台帳事業などの増額により、前年度対比2・1％の増加。

＊**民生費** 幼児教育・保育推進事業などの増加と、臨時福祉給付金事業や幼保一元化事業などの廃止・減額で、前年度対比0・1％の減少。

＊**衛生費** 健康センターミルネ整備事業や看護専門学校特別会計施設整備費繰出金、丹波市クリーンセンター管理運営事業などの増額で前年度対比31・9％の増加。

＊**労働費** 労働総務費などの減額で、前年度対比13・2％の減少。

＊**農林水産業費** 下水道事業会計繰出金、地籍調査事業などの減額で、前年度対比12・4％の減少。

＊**商工費** 商工振興事業、企業誘致推進事業などの減額で、前年度対比5・5％の減少。

＊**土木費** 河川改良事業、国庫交付金等道路整備事業などの減額で、前年度対比11・0％の減少。

＊**消防費** 消防活動車両整備事業、救急救助活動車両整備事業などの減額で、前年度対比11・1％の減少。

＊**教育費** 小学校施設整備事業、小学校管理事業、中学校管理事業などの増額で、前年度対比23・8％の増加。

＊**災害復旧費** 平成26年度豪雨災害からの復旧工事の終了に伴う減額で、前年度対比85・3％の減少。

＊**公債費** 過去の繰上償還による縮減効果と、繰り上げ償還を計上していないため、前年度対比11・6％の減少。

［用語解説］

＊**地方交付税**
市が一定水準の事務を行うことができるよう、自治体間の税収の差を調整するため国から交付されるお金。使い道は、市の自主性に任されている。

＊**国庫支出金および県支出金**
国や県から交付されるお金。特定の事業などに対して交付されるため、使い道が限定されている。

＊**繰入金**
特別会計など一般会計以外の会計から繰り入れるお金や、積み立てた貯金（基金）を取り崩したお金など。

継続 地域医療の中核拠点の整備
健康センターミルネ整備事業

③医療・保健・介護・福祉の連携

健康センターミルネの建設工事や新病院などへの東側進入路の整備工事などを継続。平成 31 年度上期の開設をめざします。

【予算額】
16 億 7,122 万 2 千円
地域医療課☎ 82 - 4611

継続 地域医療の中核拠点の整備
看護専門学校施設整備事業

③医療・保健・介護・福祉の連携

看護専門学校校舎や石生駅前に整備する寄宿舎の整備を継続。平成 31 年度上期の移転開校をめざします。

【予算額】
12 億 4,064 万 5 千円
地域医療課☎ 82 - 4611

新規 地域包括ケアシステムの構築
医療介護情報連携システム構築事業

③医療・保健・介護・福祉の連携

予防接種ネットワークを基盤に、処方・調剤情報を主とする「医療介護情報連携システム（仮称）」を構築。医療、介護従事者の情報共有を図ります。事業推進団体となるＮＰＯ法人を立ち上げ、医療・介護従事者の情報共有や市民へ周知を進めます。

【予算額】6,900 万円
健康課 ☎ 82 - 4567

新規 シティプロモーションの新展開
シティプロモーション支援事業補助金

①ターゲット年に向けたシティプロモーションのさらなる展開

自治協、農業・文化・福祉団体や市民活動団体などが主体となって行う、市のイメージアップ・知名度の向上、市外からの誘客・交流を促進する事業に要する費用を補助します。

【予算額】1,100 万円
シティプロモーション推進室
☎ 88 - 5600

新規 シティプロモーションの新展開
メディアプロモーション委託業務

①ターゲット年に向けたシティプロモーションのさらなる展開

丹波市創生シティプロモーションのイベントのメディアリリースや取材誘致活動・ウェブサイト構築・フリーペーパー制作・イベント企画運営などに専門業者のノウハウを活用。情報発信力や訴求力、メディア認知度を強化します。

【予算額】1,500 万円
シティプロモーション推進室☎ 88 - 5600

新規 豪雨災害の経験と教訓の継承
復興スタディツアー

④安全・安心なまちづくり

平成 26 年 8 月丹波市豪雨災害の経験と教訓、復旧・復興の取り組みを元にして、大学生などを対象とした防災・減災について学ぶスタディツアーを実施します。

【予算額】135 万円
復興推進室 ☎ 85 - 4622

新規 新しい都市構造づくりへの始動
新しい都市構造の検討

②未来を見据えた都市基盤の整備推進

人口減少・高齢化、統合新病院の建設など将来のまちの変化を見据え、持続可能な新しいまちづくりに向けて「まちづくりビジョン」を策定します。めざすべき都市構造（都市像）と実現するための取り組みを明らかにします。

【予算額】1,854 万 8 千円
都市創造課 ☎ 88 - 5360

拡充 市民主役の地域づくり活動への支援
男女共同参画推進体制の整備

⑥交流によって創る地域づくりの推進

男女共同参画社会の実現に向けた条例を制定するとともに「たんばの女性Ｗａｋｕ×Ｄｏｋｉフォーラム」を開催。丹波市男女共同参画センター（仮称）設置に向けた機運を醸成します。

【予算額】131 万 6 千円
人権啓発センター
☎ 82 - 0242

継続 誰もが安心して暮らせる社会の構築
乳幼児等・こどもの医療費助成

④安全・安心なまちづくり

少子化対策・子育て支援の充実のため、医療費の無料化を継続します。特例期限が平成 25 年 7 月～平成 30 年 6 月末までしたが、平成 33 年 6 月末まで延長します。
■対象者 / ０歳から中学３年生　7,441 人
■助成額 / 外来・入院の自己負担額全額無料

【予算額】2 億 5,987 万 9 千円
国保・医療課☎ 82 - 6690

新規 女性・若者の活躍支援
高校生提案事業

⑦明日の丹波市を支える人づくり

平成 29 年度に実施したタウンミーティングで提案された、高校生の意見を参考に、イルミネーションイベントを事業化。「暮らし続けたいまちづくり」への高校生の参画を促します。

【予算】363 万 3 千円
総合政策課 ☎ 82 - 0916

拡充 農林業の振興
農の学校開校準備

⑤未来を拓く産業の振興

栽培技術、農業経営および農村文化を学び実践できる施設「農の学校」。平成 31 年 4 月開校をめざして施設整備などを進めます。修了者が農業の担い手となり、丹波市に定住する仕組みを構築します。

【予算】4,339 万 3 千円
農業振興課 ☎ 74 - 1465

新規 学力向上と教育環境の充実
小・中学校空調設備整備事業

⑧地域と共に育む教育の推進

中学校 7 校 92 教室、小学校 18 校 179 教室に空調設備を整備します。教育環境の充実を図り、平成 32 年度からの新学習指導要領に対応した授業改革を推進します。

【予算額】3 億 8,200 万円
学事課☎ 70 - 0880

継続 丹波竜の活用
丹波竜活用事業

⑤未来を拓く産業の振興

丹波竜化石工房夏期特別展と冬季特別展、丹波竜フェスタなどのイベントや丹波竜化石工房の展示物の充実、にっぽん恐竜協議会の拡充、関係市間と連携を強化します。

【予算】2,266 万 7 千円
恐竜・観光振興課 ☎ 77 - 1887

そのほかの主な新規事業　※カッコ内は予算額

丹波市ふるさと住民登録制度 (127 万 1 千円)、女性農業者の組織化 (26 万 9 千円)、「公共建築物等における木材利用推進プラン」策定に向けた取り組み（10 万 4 千円）、丹波市中小企業者等経営支援システム構築事業（500 万円）、丹波市中小企業者等ホームページ作成事業 (450 万円)、恐竜を題材とした交流学習「竜学」(61 万 5 千円)、保育人材確保事業 (1 億 2,649 万 8 千円)
福祉人材確保家賃補助事業（360 万円）、世界で活躍できる人材育成事業 (168 万円)

新規 市民主役の地域づくり活動への支援
市民プラザの整備

⑥交流によって創る地域づくりの推進

丹波市市民活動支援センター（仮称）と丹波市男女共同参画センター（仮称）を併設した、丹波市市民プラザ（仮称）の整備に向け、人材育成事業と拠点施設の設計を行います。

【予算額】600 万円
市民活動課☎ 82 - 0409